

まちの話題

栄光輝く

長年の功績や日々の努力を实らせ、栄光に輝いた皆さんをご紹介します

岡野小学校 御川 歩美さん



令和2年度から3年間、兵庫県が実施した「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた課題克服研究授業改善チーム」のメンバーとして、国語の「活用・表現力」の育成に向けた指導方法の研究に取り組み、また、市の学力向上プロジェクトチームの委員としても、「確かな学力」を育む授業の改善に向けて研究を進めてこられた御川歩美さん。その取り組みが高く評価され、文部科学大臣による優秀教職員表彰を受賞されました。受賞を受けて、御川さんは「最近、岡野小の児童たちが国語の授業が楽しいと言ってくれるようになり、それが国語力の向上につながっていることが一番の喜びです。今後は、市内の学校にも広めていきたい」と熱い思いを話されました。

文部科学大臣
優秀教職員表彰

フジッコ株式会社



丹波篠山市への多額の寄付をいただいたフジッコ株式会社(福井正一代表取締役社長執行役員)に紺綬褒章が授与されました。紺綬褒章は国や地方公共団体などに、公益のために私材を寄付した個人や団体に贈られる褒章です。丹波篠山国際博を通じた持続的な観光振興と丹波篠山ABCマラソンの魅力向上のためにとの思いから今回寄付をいただきました。福井社長は、「丹波篠山市とは黒豆が縁で、何十年もお世話になっている地。今後も、黒豆の文化をしっかりと守っていききたいです」と話されました。

紺綬褒章



桶ツト卓球世界大会 in 丹波篠山 (2月22日)

風呂桶をラケットとネットに見立ててボールを打ち合う丹波篠山市発祥のスポーツ、桶ツト卓球の世界大会が開催されました。日本、ベトナム、中国、ネパール、フィリピン、イギリス、アメリカ、カナダ、ブラジルから104組208人が出場し、熱戦を繰り広げました。また、大会アンバサダーとして、丹波篠山ふるさと大使の森田まりこさんが来場し、大会を大いに盛り上げました。



丹波篠山映像祭 (2月15日)



「いまを未来へつなぐ」をテーマに開催された丹波篠山映像祭。大賞には吉田理乃さん(東京都)の「命を届ける場所」が選ばれました。吉田さんは「牧場と地域の人の関わりや、牧場の存在が子どもたちの心に与えた豊かさを残したいと思い制作した」と制作にかけた思いを語りました。また、1分以内の動画作品を募集したEnjoy丹波篠山♪ショートムービーアワードでは「篠山のイノシシ巡り」が優秀賞・会場セレクト賞の2冠に輝きました。

活動レポート

神戸市役所からの派遣職員 農都政策課 岡本 康志さん



令和7年4月に神戸市役所から丹波篠山市に派遣され1年間、農業関係の業務に従事されてきた岡本康志さん。4月からは神戸市に戻られることになりました。ここでは、丹波篠山で学ばれた活動の成果をお届けします。(聞き手=市長公室)

■丹波篠山市役所では、どんな仕事に携わりましたか
中山間地域等直接支払交付金事務をはじめ、市内の農産物直売所を巡る直売所スタンパラリーの開催や、ふるさと農業まつりをメインに担当しました。水稲、黒大豆の生育調査にも関わりました。また、丹波篠山の特産品を学ぶために、山の芋スクールや黒豆スクールにも参加しました。

■特に思いに残っている業務は何ですか
ふるさと農業まつりで行われた「山の芋の競り市」です。兵庫県知事賞を受賞された品が高額で競り落とされ、見ているこちらも興奮する催しで、丹波篠山の特産物のブランド力の高さが強く印象に残りました。その一方で、山の芋の生産者が年々減ってきているという現状に、寂しさを感じました。

■神戸市に戻って、この経験をどのように生かされていきますか
農業資材の高騰や、昨今の夏の異常高温など、生産者の苦勞を肌で感じる事ができた1年でした。日本の良さである、新鮮で安全な農産物がいつでも低価格で手に入る、ということを守っていくため、消費者と生産者、または都市と農村をつなぎ、新たな関係性を構築するような取り組みにつなげていけたらと思います。



特集
タウンピククス
HOTとく
情報ピックアップ
市政リーダー
インフォメーション
おでかけ相談
はぐくみ
街かどレポート
栄光輝く
まちの話題

自転車無事故無違反達成 篠山鳳鳴高校に県警本部長賞 (3月9日)



兵庫県警が県内の高校生を対象に、自転車の安全利用に取り組む「自転車セーフティプロジェクト(チャリプロ)」において、篠山鳳鳴高校が県警本部長賞を受賞しました。同校は、自転車交通安全テスト(1年生が対象)の成績が優秀で、8月から12月まで行われた無事故無違反チャレンジ(全学年対象)でも、無事故無違反を達成しました。今年度のチャレンジでは県内の高校86校が参加し、うち16校が無事故無違反を達成しています。

9日には同校で伝達式が行われ、交通企画課の谷真輔調査官から、生徒会長の2年・山本太陽さんと1年生代表の畑晴太さんが賞状を受け取りました。山本さんは、「信号がない場所でもしっかりと安全確認を行って来ました。今後も安全運転を心掛けていきたい」、畑さんは「信号をしっかりと見て、左右を確認することを意識して運転して来ました。今後も気を付けて運転していきたい」と受賞の喜びを話しました。

きょうもまあるいゆ! 117



★詳しくは、12ページをご覧ください。

丹波篠山ABCマラソンー8,118人が疾走ー(3月1日)



第46回丹波篠山ABCマラソンが篠山城マラソンコース(42.195 km)を舞台に開催し、フルマラソン8,118人、2人1組でつながりレーマラソン149組298人の市民ランナーが早春の丹波路を駆け抜けました。今大会は「ランナーに選ばれる大会」として大会ユニフォームの採用、各時間帯パーサーの配置、大会舞台やゴールゲートのデザイン更新を行いました。

ランナーは9時30分に市役所前を一齐にスタート。コースでは、1,000人を超えるボランティアが参加。選手たちは沿道からの温かい声援、吹奏楽や太鼓の演奏、しし汁・黒豆や栗を使ったお菓子やチョコレート、アメなどのふるまいを受けながら、感動のゴールをめざして力走。7,626人の選手たちが見事に完走しました。

ホッケーオールスター戦出場(2月28日~3月1日)



ホッケークラブHC HYOGO HEARTS に所属する山本勇太さん(城東小6年)と福本星南さん(城北小6年)が12歳以下の日本代表に選出。大井ホッケー競技場(東京都)で開かれるオールスター戦に出場します。市役所を訪問した山本さんは「得意のドリブルを生かしてシュートを決めたい」、福本さんは「しっかりパスを回して勝利に貢献したい」と話しました。

篠山少年少女合唱団 第50回記念リサイタル(2月22日)



指揮を執る古林さん

みんなで歌おう

記念すべき第50回目のリサイタルを迎えた、篠山少年少女合唱団(飯田天祥団長)。特別企画である「みんなで歌おう」では、一緒に歌いたいと応募のあったお友達8人を迎えて元気に合唱。また、OB・OGと共に歌う企画もあり、団歌の合唱の際は作曲した古林宏之さんご自身が指揮され、会場を感動で包みました。

兵庫ダイハツ販売(株)と協定(3月5日)



市と兵庫ダイハツ販売株式会社(和田良平代表取締役社長)は、市民サービスの向上と地域活性化を目的に包括連携協定を締結しました。丹波篠山国際博での協働をきっかけに二次交通支援や災害時の電気自動車の供給など、公民連携での取り組みを進めます。

ささやまTWC全国大会へ(3月1日)



兵庫県大会で3位という成績を収め、「全日本綱引選手権大会」への出場を決めたささやまTWC。8ブロックに分かれた総当たり戦で、ささやまTWCはチーム丸となって戦い、見事目標としていたベスト16入りを果たしました。